

ハイデルベルク信仰問答より

問 122 第一の願いは何ですか。

答え 「御名を崇めさせたまえ」であります。まず第一に、それは、私たちにあなたを真実に知らせ、あなたの全能と知恵と慈しみと義と憐れみと真実を輝かすすべての御業をもって、あなたを崇め、ほめたたえ、讃美させてください、ということであります。次に、あなたの御名が、私たちのゆえに、決してはずかしめられることなく、常に尊ばれ、讃美されるために、思想においても、言葉においても、また行ないにおいても、私たちの全生活をととのえてください、ということであります。

〔別訳〕

「御名をあがめさせたまえ」です。すなわち、第一に、わたしたちが、あなたを正しく知り、あなたの全能、知恵、善、正義、慈愛、真理を照らし出す、そのすべての御業において、あなたを聖なるお方とし、あがめ、讃美できるようにさせてください、ということ。第二に、わたしたちが自分の生活のすべて、すなわち、その思いと言葉と行いを正して、あなたの御名がわたしたちのゆえに汚されることなく、かえってあがめられ讃美されるようにしてください、ということです。

主の祈りの最初に置かれているのが、「御名をあがめさせたまえ」という願いです。この短い一文に、神様への深い尊敬と信頼、そして私たち自身のあり方への問いかけが込められています。「御名」とは、神様の名前そのもの以上の意味を持ちます。それは、神様のご性質——全能で、知恵に満ち、慈しみにあふれ、正義と真実を備えた、**神ご自身の存在そのもの**を指しています。「御名」とは、聖書では「神ご自身」を指し、神について言えることのすべてを包括したことです。つまりこの願いは、まず第一に、「神様、私たちがあなたのことを正しく知り、あなたのなさるすべての御業を通して、あなたのすばらしさを認め、讃美できますように」という祈りと言えます。

ですが、この願いはそれだけではありません。私たちの生活のあり方そのものにも関わってきます。信仰を持つ者が、「神の子」として生きるとき、私たちの言葉や態度、生き方のすべてが、**神様の御名と結びついて見られる**ことがあります。そのため、この祈りはこう続くのです。「神様、私たちがあなたの御名を汚すことのないように、思いも、言葉も、行動も、すべてを整えてください。私たちのゆえに、あなたの御名が軽んじられることのないように」と。

私たちは、神様の名を語りながら、知らず知らずのうちに、その名を曇らせてしまうことがあります。たとえば、愛を語りながら誰かに冷たくしてしまうとき。赦しを語りながら心の中で裁いてしまうとき。そんなとき、主の祈りのこの第一の願いは、私たちの心の向きを、そっと整え

てくれるのです。「まずは神様を第一に」「自分の栄誉よりも、神様の栄光を」——この祈りは、私たちの祈り全体に先立って、神様との正しい関係を築く土台となるもののなのです。

多摩ニュータウンキリスト教会のN先生は、「御名が崇められますように」と祈るとき真っ先に思い浮かぶのは「あなたの汚された御名がもう一度崇められますように」という要素だと言っておられました。意味はこの一点だけに集約されているわけではありませんが、この要素も忘れないようにしたい。「御名を汚している」のは、世の罪や、神を知らない人々によってだけではなく、主の祈りを祈る「イエスの弟子たち」自身でもあるからです。つまり、この祈りは遠くの誰か罪を裁くものではなく、祈る人自身の内面を問い、内省を求めるものであります。

だからこそ、主イエスはこの願いを最初に置かれたのです。私たちの信仰のスタートは、願い事の列挙ではなく、「神様、あなたの御名があがめられますように」という、**神様中心の祈り**から始まる。この祈りが整えられていくとき、私たちの暮らしそのものも、神様の栄光を映す器へと形づくられていくでしょう。

今日も、「御名をあがめさせたまえ」と祈りながら、私たちの思い・言葉・行いが整えられ、私たちを通して、神様の素晴らしさが輝きますように。